

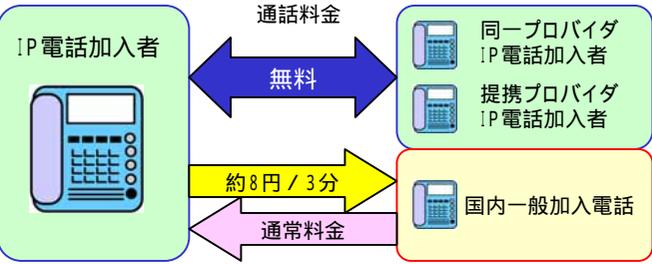
IP電話導入
チェック!

料金と信頼性、貴方はどちらを選びますか？

ADSLやBフレッツなどのブロードバンド回線のメリットは、回線速度の速さと常時接続、固定料金などがあげられますが、『IP電話』を利用できる事もあげられます。IP電話を利用すれば、電話代金を大幅に節約する事が可能です。かける相手によっては無料の場合もあります。ただ、発展途上のサービスであることも事実です。まだまだ制限もあるようです。

安さだけがメリット！？

IP電話サービスは最近多くのプロバイダの標準サービスになり、ブロードバンド回線をご利用の場合は簡単に導入できるようになりました。電話機も今お使いの電話機をそのままお使いいただけることがほとんどで、追加の投資は後述のIP電話対応機器ぐらいです。導入が簡単で、利用料金が格安または無料となれば普及しないはずがありません。しかし、その安さと引き換えに、ある程度の制限を受けるのも事実です。その事を知った上でIP電話を上手に利用しましょう。



こんな人にはIP電話がピッタリ！！

市内電話しかかけない方や、1ヵ月の通話時間がたったの数分という方はIP電話のメリットは無いに等しいと言えます。IP電話は以下のようなヘビーユーザーにおすすめです。
 県外の友人、知人、親戚などによく電話する。
 よく長電話をする。
 固定電話から携帯電話に電話する事が多い。

すべてがタダではありません

IP電話を利用するにはIP電話対応機器（モデムやルーター）が必要です。これらはNTTやKDDIなどの回線業者より購入またはレンタルしなければなりません。既にお使いのモデムやルーターを変更するかアダプタを追加しなければいけません。レンタルの場合は月々400円～600円ほどのコストがかかります。



IP電話対応
ADSLモデム



IP電話対応
ルーター



VoIPアダプタ

IP電話対応機器に出費がかかりますが、そのほかに特別な電話機などは必要ありません。現在お使いの固定電話がそのまま使えます。

だから固定電話は手放せない！

IP電話対応機器の設置と設定さえ済めば、IP電話は固定電話と同じように利用できます。しかし、いくつかの制限があるのも事実です。

緊急電話はかけられない！

IP電話は固定電話と同じように電話をかけることができますが、110番や119番などの緊急電話や0120で始まるフリーダイヤルなどにはかけることができません。しかし、自動的に固定電話の回線でもかかりますので110番に電話できないわけではありません。

FAXはちょっと苦手

基本的にIP電話でもFAXは利用できますが、G4回線を使ったFAXは利用できません。また、エラー訂正機能が付いた企業向けのFAXも使用できない場合があります。一般家庭では問題はないかも知れませんが、会社で使う場合はIP電話でのFAXは信頼性の面から控えた方がいいようです。

停電時はお手上げ

停電時に使用できない点もIP電話の問題点です。IP電話を利用するにはIP電話対応機器を接続しますが、停電時はこれらの機器が使えませんがIP電話も使用できません。その点、固定電話は回線から給電されますので停電時でも利用できます。

24時間×365日いつでも使えるわけではない！

安く便利なIP電話ですが、信頼性の面では固定電話に一步譲ります。停電時に利用出来ない事や、FAXでの信頼性、そしてプロバイダのメンテナンス時等も利用できない時があります。また、利用するために固定電話とは別に、モデムやルーターなどのIP電話対応機器を追加しなければならずこれらのどれか一つでも故障した時も利用できません。もしものために、IP電話は必ず固定電話と併用するようにしましょう。

ADSL回線は注意！

ブロードバンド回線で利用できるIP電話ですが、ADSL回線の場合、IP電話の利用には実際の回線速度が大きく関係します。実際の回線速度が200Kbpsを下回るような場合は、通話品質が落ち、IP電話を利用できない場合もあります。IP電話の導入にあたっては、プロバイダーやNTTなどの回線業者に確認することをお勧めします。

いくつかの制限もありますが、それも少しずつ改善されていくはず。IP電話はまだ発展途上段階のサービスと言えますので、これらの制限を知る事が、IP電話を上手に使うことに繋がります。近い将来、電話といえば「IP電話」という時代が来るのではないのでしょうか？

知っていましたか？

液晶ディスプレイにスクリーンセ이버はいらない？

本来、スクリーンセ이버はディスプレイの“焼付け”を防ぐ役目がありました。しかし、“焼付け”を起こすのはブラウン管を使用したディスプレイであり、液晶ディスプレイは焼付けを起こしません。現在のスクリーンセ이버の役目は“焼付け防止”から、離席中の画面隠しに変わったようですね。

4倍速対応DVDメディアに2倍速書き込みDVD-Rドライブで書き込むと、ドライブが壊れる？

通常、機械には下位互換性というものがあるのが普通ですが、DVDの場合は違うようです。ちょっと古いDVD-Rドライブに最近の4倍速対応メディアを入れて使うと煙が出てきたと言う事もあるそうです。お使いのDVDドライブにあったメディアを使用しましょう。

コンパクトフラッシュ(CF)にも「倍速」の製品がある？

古くからあるリムーバブルメディアのCFはデジカメなどで今でも多く使われています。最近のデジカメには連写機能がありますが、書込み速度が遅いCFの場合、連写が出来なかったりします。連写機能を使う方は、速いCFを使用しましょう。

ついに携帯電話を標的としたウイルスが登場！

最近の携帯電話はインターネットへの接続やデジカメの搭載など、多機能になりました。そんな中、携帯電話を狙ったウイルスが発見されました。一般にウイルスはOS（オペレーティングシステム）により感染したり感染しなかったりしますが、実は携帯電話の中にもOSが組み込まれています。現在のところ実質的な被害はないとの事ですが、今後、携帯電話を狙ったウイルスが増え行くことが懸念されています。そのうち携帯電話用のウイルス対策ソフトも登場するのでしょうか？

携帯電話の多機能化、IP電話の普及など、通信関係の発展はすごいですね。IP電話の携帯版が出てくるのもそう遠い頃ではないのかも知れません。でも時間を気にせず携帯電話を使うようになると、いつか話中になるかも知れませんね。

開発室から

乾電池の話

先日、白山スーパー林道に行ってきました。最初の撮影スポットで車を止め、デジカメで撮影をしたところ、いきなりバッテリー切れ。私のデジカメは単3乾電池も使用できるけど、白山スーパー林道にはコンビニもありません。結局、岐阜県側にある唯一の売店で乾電池を購入しましたが、白山スーパー林道の多くの“みどころ”がある石川県側では何も撮れません。今度行く時は、必ず予備の乾電池を持って行くことにします。乾電池が使えるデジカメで良かったと実感した出来事でした。